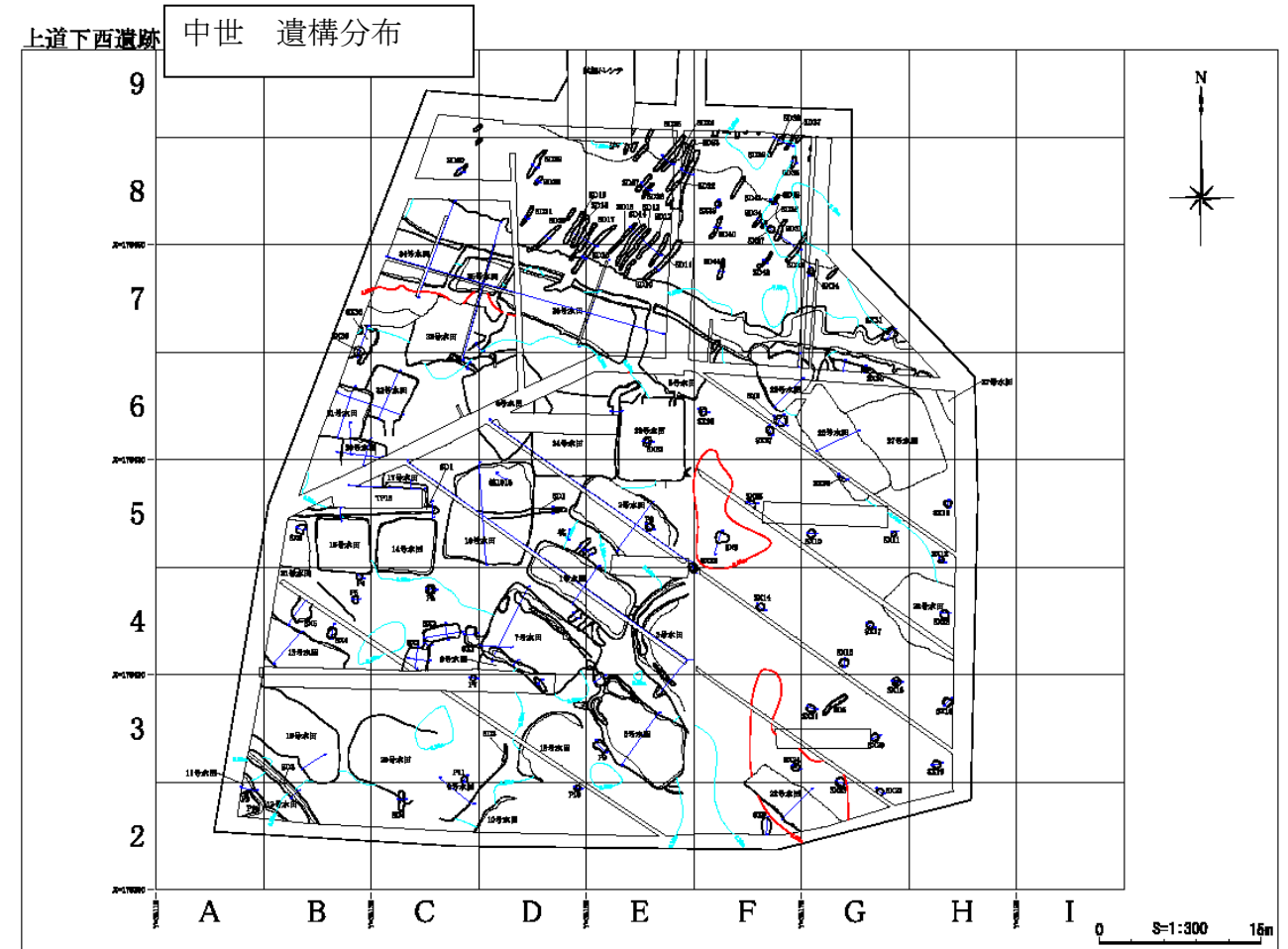
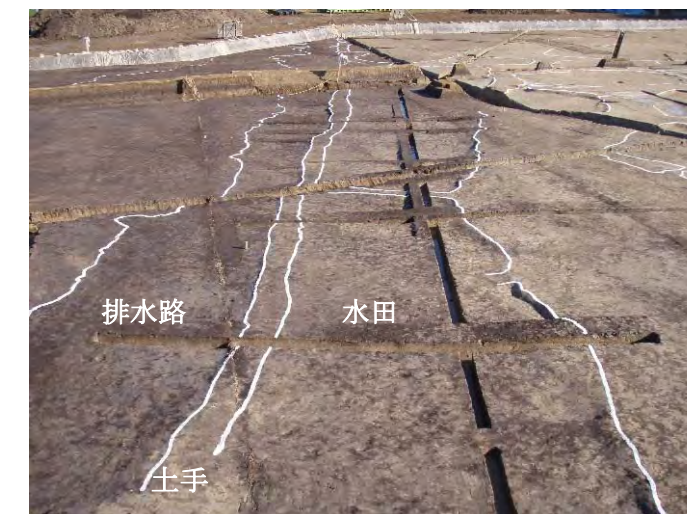


かみみちしたにし
上道下西遺跡報告会 資料



遺跡の所在	三条市福島新田
調査原因	北陸自動車道 栄スマートインター建設
調査発注	三条市・東日本高速道路株式会社 新潟支社長岡管理事務所
発掘調査期間	平成 22 年 8 月～12 月
遺跡の時期	中世・古代・縄文時代晩期
遺跡の立地	信濃川右岸沖積地の自然堤防上、標高 8 m 前後
調査面積	延べ 12,033 m ² (4,011 m ² × 3 層)
調査主体	新潟県教育委員会
調査機関	(財) 新潟県埋蔵文化財調査事業団・支援 (株) 古田組

層名	土色・土質・その他	検出遺構	放射性炭素年代測定	時期・出土品	イネ属機動細胞珪酸体	遺跡の性格
I 層	褐色土					
II 層	暗褐色土					
III a 層	黒色土 (ガツボ)		AD 1400～1450 年			
III b 層	灰色シルト (火山灰?)					
III c 層	黒色土 (ガツボ)		AD 1300～1370 年、 AD 1380～1430 年			
III d 層	黒色土 (中世水田耕作土)	水田 36・畑作溝 53・土坑 28・土手 1・ 溝 6・ピット 10・性格不明遺構 9		14 世紀後半ごろ (天目茶 椀)	1,200 個/g	生産 (水田)
IV 層	暗灰色土				600 個/g	
V a 層	暗灰色土 (古代水田耕作土)	水田 35・土坑 1・溝 7・土手 1		9 世紀後半～末 (須恵器 杯)	1,200 個/g	生産 (水田)
V b 層	暗灰色土 (古代水田耕作土)				1,200 個/g	
V c 層	黄灰色粘土 (縄文時代晩期 遺物包含層)	竪穴建物 4・土坑 9		今から約 2,400 年前 (縄 文土器・石器・玉)	0 個/g	小集落
VI 層	黄灰色シルト				0 個/g	
VII 層	青灰色砂					



中世 溝 (排水路)・土手・水田